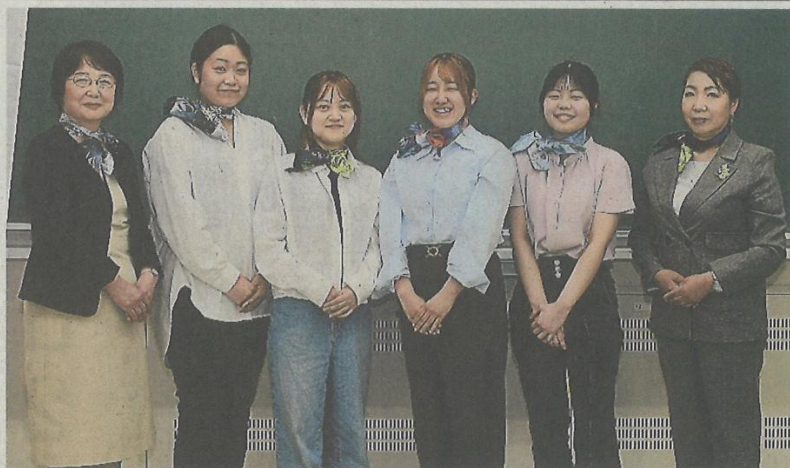


スカーフを身に着ける学生ら  
と杉山学長⑤、出町代表⑥



## 市の花・菊 スカーフに 八学短大部とMami 共同開発

発売予定の「scarFFit+」



八戸学院大学短期大学部(杉山幸子学長) 幼児保育学科と、八戸市のアパレル会社「Mami」(出町麻江代表) は、市の花・菊のデザインが施されたスカーフ「scarFFit+」(スカーフフィット) を共同開発した。昨年開業したMamiの第1弾の商品として、7月末に発売予定。

色などをイメージした「夏」「秋」「冬」「水」の4種類。昨年度後期の「デザイン基礎」の講義で学生が制作したデザインをベースに、講師を務めていた船山哲郎さん(現・東北工業大学ライフデザイン学部講師) が手がけた。

このほど八学短大部で贈呈式が開かれ、出町代表が同科の学生約50人にスカーフを手渡した。同科2年の松橋ひよりさん(19)は「自分たちのアイデアが実際の商品になってうれしい。着け心地も良く、夏でも使えそう」と話し、出町代表は「学生の皆さんが自分たちのデザインしたものを身に着けて、夢へ踏み出してくれれば」と語った。

スカーフは同社の販売サイトのほか、アンテナショップなどでも販売を予定している。

(中村篤希)

八戸